

こころのやすらぎ



心理相談員
浅川佳子

北小学校の相談室は校舎の三階北側にあります。窓も北側にあつて、その窓からは、四季折々の風景を感じさせてくれます。

先日、ふと窓を見たとき、木々に付いている葉の枚数が少なくなっていることに気がつき、葉と葉の間からは浅間山が見えていました。相談室から浅間山が見えるのは約半年ぶり、新緑の季節から葉が生い茂るため見えなくなっているのです。浅間山が見えることで秋から冬へと季節が変わっていくを感じます。放課後、相談室に遊びに来ている子どもたちは、暗くならないようにと、下校時間を守って学校を後にしています。



愛のじつば

朝は「おはようございます」
夜は「おやすみなさいませ」
「いただきます」に「ごちそうさま」

おでかけおかえりごあいさつ
だれかにあつたら「こんにちは」

わかれるときは「さようなら」
しつばいしたら「すみません」
いたわることは「ごくろうさん」

おれいのことばは「ありがとう」
愛のことばに花が咲く

たのしみな言葉をこころ

ひとの嫌がることはやめよう
電車の中で大声で話さない
自分がしてもらいたいことはしよう

雨に濡れていたら傘を貸してあげよう

いじめはやめよう
いじわるされれば悲しくなります

やさしいことば あたたかいことばをかけよう
すすんでよいことをしよう

この二つの文「愛のことば」と「すすんでよいことをしよう」は「心のノート」—あなたへのすばらしい人生のために—の中に書かれている一部の言葉です。

この「心のノート」は私が、六年ほど前に別所温泉でお寺巡りをしたときに知った本(冊子)です。

私事ではありますが、この文を読んだとき、心の中が温かくなりました。また自分の今までのことを振り返ってみると、反省をする数々のこと

があつたのではないかと考えました。

相手の心を傷つけてしまうような言葉を言っていないか。あるいは、相手に対して嫌な態度や行動をしていなかっただろうか？

子どもたちも、友達同士の言葉のやりとりの中で、つい言ってしまう言葉があるのではないでしょうか。

相手に嫌な言葉を言ってしまった訳を子どもに聞くと「○に言われて嫌だったけど自分もその言葉を使つた。」「いつもその言葉を言われているから。」と答えていました。

感情も入ってしまったりして、言葉に出してしまつたのかもかもしれません。いつも言われている」という意図が気になります。

子どもだけでなく大人もいつも嫌な思いをすることを言われているとしたら、どうでしょう。嫌な思いをしますよね。嫌な思いをさせないよう、相手に対しての言葉遣いをお互いに考えていきたいと思ひます。

二つの文を基に言葉遣いやあいさつなどについて、ご家庭での会話の中に出してもら

えたらと思ひます。



心理相談室の利用について

心理相談室では、教育にかかわる心理的な悩み相談にに応じています。ご自身の学校での悩みや、お子さんについて心配なこと、学校での心配ごとをお気軽にご相談ください。

相談日・相談時間

相談日：水曜日

相談時間：

午後2時～5時

相談場所：心理相談室

相談料：無料

あらかじめ電話で相談日時を決めます。水曜日、午後2時～4時30分の間にお電話ください。

予約問い合わせ先

エコールみやた生涯学習係(32)2770または(32)9100へかけていただき、心理相談室内線117番へ繋ぐようお願いください。



K O M O R O 小諸市

<http://www.city.komoro.nagano.jp/>



市制施行55周年記念シンポジウム

「小諸 わが想い出 ～当時の小諸 これからの小諸～」

今年是小諸市制施行から55周年を迎えます。
これを記念して、小諸にゆかりのある小林亜星、永六輔の
両氏をお招きし、これまでの小諸を振り返り、これからの
小諸を語るためのシンポジウムを開催します。

◆日 時 11月8日(日) 午後1時30分～4時30分(開場午後1時)

◆会 場 小諸市文化センターホール

◆内 容 ・当時の小諸 これからの小諸
小諸について大いに語っていただきます。
・歌いつなげよう 私たちの財産
皆さんと一緒に楽しみましょう。

※このシンポジウムは宝くじの助成金で開催します。入場は無料です。小諸市
民はもとより多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

▼問い合わせ先 商工観光課観光係
☎26-0210



小林亜星さん



永 六輔さん



三島さやかさん
(コーディネーター)



小諸市長 芹澤 勤



軽井沢町 KARUIZAWA

<http://www.town.karuizawa.nagano.jp/>



早稲田大学交流事業 講演会

人間関係が希薄になっている現代社会では、孤独が数々の悲劇を生んで
います。その中で、名作落語は、親子、夫婦、友人、ご近所など
様々な人間関係について人間が本来持つべき「心の絆」をおおらかに描
いており、私達にヒントを与えてくれます。講演会では、落語鑑賞を
通して、「心の絆」について考えていきます。

と き 11月14日(土) 午後1時30分～3時

と ころ 軽井沢町老人福祉センター 大広間

講 師 早稲田大学エクステンションセンター講師 布目 英一 氏

演 題 「落語鑑賞の楽しみ～名作落語は心の絆の尊さを教えてくれる」

※入場無料、申し込みは不要です。

【問い合わせ先】 教育委員会 生涯学習係 ☎45-8695



布目英一氏